

第36回

都島メディカル ・カンファレンス

申込要
参加費
無料

本会は、医師会と大阪市立総合医療センター、近隣の診療所・病院勤務の先生方や多職種の方々と、症例検討を中心としたカンファレンスです。このカンファレンスを通して診療レベルが向上し、相互の信頼と親睦が深まり、医療連携が促進されることで患者さんへより良質の医療を提供する一助となる事を目的としています。

今回は“感染症”をテーマに専門家でなくてもきちんと理解できるプログラムを企画いたしました。皆様と一緒に勉強したいと思っておりますので、ぜひ、ご参加ください。裏面のFAX申込書でお申し込みください。

2024年

9月28 (土)

15:00~17:00 (14:30 受付開始)

会場：大阪市立総合医療センター 3階さくらホール

対象：医療従事者

※資料などの準備の都合上、事前の申し込みをお願いしておりますが、当日の参加申し込みも可能です。

◆プログラム

【症例】身体所見が診断に有用であった感染性心内膜炎の4症例

総合診療内科 乃田 颯真 門澤 啓太 (共同演者)

感染性心内膜炎(IE)は弁膜や心内膜に細菌や真菌などを含む疣腫を形成し、菌血症、塞栓症、心障害をきたす重篤な疾患です。

IEは不明熱の原因として鑑別に挙げるべき重要な疾患ですが、身体所見において皮疹の存在が診断に有用であることがしばしばあります。IEに伴う皮疹としてOsler結節、Janeway斑、splinter出血や手足以外であれば点状出血斑などが報告されていますが、今回、当科で対応した発熱患者において、上記所見からIEの確定診断に至った症例を経験しましたので、文献的考察を加えてご報告致します。

【特別講演】ポストコロナの感染症診療「渡航関連感染症のいろは」

感染症内科 森田 諒

コロナ禍が終わり一息つけるかと思ったのも束の間、海外との往来が盛んになり、渡航関連感染症患者様の受診が急増しています。来年には大阪万博の開催を控え、人々の往来は今後より一層盛んになると予想されます。まさかうちには来ないだろう、と思っておられる一般医家の先生方のもとにも明日、マラリア、デング熱、腸チフス、麻疹、侵襲性髄膜炎菌感染症の患者様が来られるかもしれません。熱帯熱マラリアの患者様は無治療では数時間後に生命の危機に陥ります。麻疹や侵襲性髄膜炎菌感染症の患者様の診察時は他の患者様、医療スタッフへの感染対策が重要です。渡航後の患者様は日本では稀な強力な薬剤耐性菌を持っておられるかもしれません。渡航関連感染症の可能性のある患者様の診療において、何を考え、どのように対応すれば良いか、皆さまと共に考える機会となりますと幸いです。

【閉会あいさつ】

総合診療内科部長 後藤 仁志

主催：大阪市立総合医療センター

【事務局】 総合診療内科
総合診療内科

後藤 仁志
山口 利昌

【お問合せ】 地域医療連携センター

神谷・竹中

☎06-6929-3633 (直通)